

ホワイトヘッファー病とは

生産本部 指導部 技術課 本田 望

繁殖検診や人工授精の時に「子宮が片側しかないよ」「この牛は単子宮だね」と言われたことがあると思います。生殖器部分欠損の発生頻度が多いものに、ホワイトヘッファー病が挙げられます。

ホワイトヘッファー病には、子宮角の大部分、子宮体、子宮頸、膣を欠如する1型、一側の子宮角を欠く2型、膣より先の生殖器は正常に形成されるが膣弁が閉鎖している3型があります。ホワイトヘッファー病は卵巣が正常に形成されているため、発情兆候は正常に確認され、排卵や黄体形成も正常に行われます。1型と3型は子宮頸や膣が閉塞しているため受胎の見込みはありませんが、2型は片側が正常子宮なので受胎する可能性があります。2型ホワイトヘッファー病の発情周期は正常周期と不整周期が混在しています。子宮角が存在する側の卵巣から排卵された場合には、発情周期の長さは正常になりますが、子宮欠損側の卵巣から排卵された周期では発情周期が延長するケースが多くなります。黄体の退行は子宮由来の黄体退行因子（PG）によって調節されているので、子宮角が存在しない場合には黄体退行作用が現れないためです。子宮欠損側に黄体がある場合はPGを打って発情を誘起してもらってください。

当然ながら、受胎が見込まれるのは正常な子宮角側の卵巣から排卵された場合のみなので欠損子宮角側が排卵する場合には人工授精による受胎は見込めません。しかし、受精卵移植は有効なので、欠損子宮角側で排卵する場合は受精卵移植を推奨します。



左側子宮角が欠損している。



正常な子宮に見えますが、左側が閉塞しており
左子宮角に粘液が貯留して膨らんでいる。

引用：カラーアトラス 牛の先天性異常



「脂肪酸組成（FAO）」の情報提供を開始します！

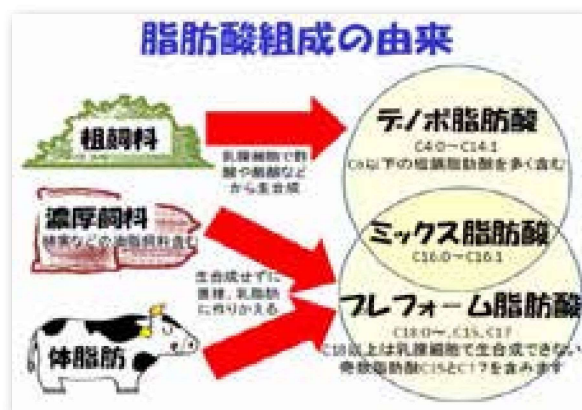
牛群検定の新たな指標である「脂肪酸組成（FAO）」を乳成分速報に掲載します。

脂肪酸組成とは、乳房の乳腺細胞で生合成を出来るかどうかの基準であり、デノボ脂肪酸、プレフォーム脂肪酸、ミックス脂肪酸の3通りがあります。

主に粗飼料から作られる乳脂肪はデノボ脂肪酸と呼ばれ、乳腺細胞で生合成されて乳脂肪です。濃厚飼料や体脂肪が由来の乳脂肪はプレフォーム脂肪酸と呼ばれ、乳腺細胞で生合成できません。ミックス脂肪酸は、その両方の性質を兼ねています。

このことから、デノボ脂肪酸は主に粗飼料の利用性、プレフォーム脂肪酸は濃厚飼料の利用性や牛の過肥削瘦等をモニタリング出来ます。

なお、このことに伴い、乳成分速報のレイアウトも変更となりますので併せて確認ください。



〈脂肪酸組成の内訳〉

項 目	内 容
デノボ脂肪酸	ラテン語で「新たに」という意味で、ルーメン発酵の結果できる「酢酸」や「酪酸」を供給源に乳腺細胞で新たに作られるため、デノボ脂肪酸と名付けられています。
プレフォーム脂肪酸	乳腺で作られない既成の脂肪酸で、あらかじめ作られているという意味から「プレフォーム」と名付けられています。この脂肪酸は「エサに含まれる脂肪」と「乳牛自身が蓄えていた体脂肪」の2つの由来があります。
ミックス脂肪酸	デノボ脂肪酸とプレフォーム脂肪酸の両方に含まれる脂肪酸で、どちらにも含まれるという意味から「ミックス」と名付けられています。

〈レイアウト変更内容〉

①乳成分速報の掲載検査項目の追加

D n F（デノボF A）……………数値が高いとルーメン発酵が良好の証

P r F（プレフォームF A）……数値が高いと牛のエネルギー不足等の疑い

D n M（デノボM i l k）…………ルーメン発酵の適否を評価

②ページ数の増加見込み（2列掲載から1列掲載への変更に伴い）

〈問合せ先〉

熊本県乳用牛群検定組合 事務局：坂本

TEL：096-388-3516（らくのうマザーズ経営支援課内）



MOTHER'S

○旧・乳成分速報レイアウト

検定コード: 9499999

検定 太郎

様

送信日: 2023.99.99

熊本県乳用牛群検定組合

乳成分速報 Ver 2.01

No.1

個体識別	脂肪	蛋白	乳糖	SCC	MUN	FFA	BHB
12345 0000 1	3.12	3.03	4.78	39	11.4	0.00	0.07
12345 0001 2	4.67	4.23	4.43	37	11.0	0.00	0.02
12345 0016 7	4.64	3.94	4.69	85	11.7	0.43	0.06
12345 0017 8	3.01	3.58	4.59	175	9.1	0.06	0.05

個体識別	脂肪	蛋白	乳糖	SCC	MUN	FFA	BHB
12345 0018 9	4.00	3.00	4.50	40	10.5	0.00	0.05
12345 0019 0	3.85	4.00	4.45	20	12.0	0.00	0.02
12345 0034 5	3.90	4.20	4.70	90	12.5	0.01	0.03
12345 0035 6	3.95	4.10	4.80	85	13.0	0.00	0.04

※FFA(遊離脂肪酸)・・・2.0以上サンプルについて注意が必要です

※BHB(乳中ケトン体)・・・0.13以上でケトーシスのリスクが高まります



○新・乳成分速報レイアウト

FAX 096999999 ¥

検定農家コード: 94-99-999

乳成分検査日: 2023年99月99日

検定農家名: 検定 太郎

乳成分の分析結果速報 Ver 2.32

個体識別	脂肪 (%)	タンパク (%)	無脂固形 (%)	乳糖 (%)	体細胞 (千/ml)	MUN (mg/dl)	BHB (mM/L)	FFA (mM/100gFat)	DnF (%)	PrF (%)	DnM (%)
12345 0000 1	※ 3.12	3.03	8.63	4.78	39	11.4	0.07	0.00	※ 27.7	30.4	※ 0.82
12345 0001 2	4.67	4.23	9.55	4.43	37	11.0	0.02	0.00	28.4	31.8	1.26
12345 0016 7	4.64	3.94	9.49	4.69	85	11.7	0.06	0.43	※ 27.2	31.1	1.20
12345 0017 8	3.01	3.58	8.98	4.59	175	9.1	0.05	0.06	※ 27.3	33.9	※ 0.78

注) エラーチェック前のデータです。ご注意ください。

脂肪酸組成について・・・ DnF(%): デノボ(De novo)の脂肪酸(FA)組成割合

【目 安】(分娩～60日): 22%以上、(61日～): 28%以上 ※: <28%

PrF(%): プレフォーム(Preformed)の脂肪酸(FA)組成割合 ※: >40%

DnM(%): デノボ(De novo)の乳(MILK)組成割合 ※: <0.9%

ベースは、それぞれ乳100g、乳脂肪100gに対しての脂肪酸重量割合

※: 乳脂肪率、蛋白質率、無脂固形分率、MUN、それぞれ3.3%、2.8%、8.3%以下、8以下・16以上

△: 体細胞が283～1131 ▲: 体細胞が1132以上

㊟(ランシッド臭) FFA 0.2mM/100gFat以上

㊟(ケトーシス) DnF 22%未満、PrF 50%以上、BHB 0.13mM/L以上

令和4年分酪農税務研修会

らくのうマザーズ、公益社団法人熊本県畜産協会

令和4年分酪農税務研修会が1月31日(火)に本会の大会議室とリモート配信で同時開催されました。今回も熊本西税務署の白石敬士記帳指導推進官と熊本市北区で税理士事務所を開設しておられる木庭靖税理士の御二方をお招きし、令和4年分税制改正の留意点、確定申告における重点項目やインボイス制度等について説明していただきました。

特に、令和5年10月1日より開始されるインボイス制度(適格請求書等保存方式)については、消費税の仕入額控除や家畜取引等で酪農家にも関係があるため、より詳細に説明していただきました。インボイス制度は既に登録申請手続きが可能であり、令和5年10月1日から登録を受けるためには、原則、令和5年3月31日までに登録申請を行う必要がありましたが、昨年12月の税制改正の大綱により、令和5年の制度開始時までに登録が可能となりました。(但し、登録の承認には2～3ヶ月係る見込み)

なお、本制度における申請については、酪農家各々が内容を十分考慮した上で判断していただきますようお願いします。(※前号の青色申告特集号P6～P7を十分参照してください)



白石記帳推進指導官



木庭税理士



研修会風景

